

かとうたけし  
加藤毅

エフコープスタッフ(現在、インク・アンド・ペーパー出向)。  
気象予報士と防災士の資格を持つ。好きな空は「心が晴れ渡るような真っ青な秋の空」。



豆知識たくさん!

# 子育て ぽけっと

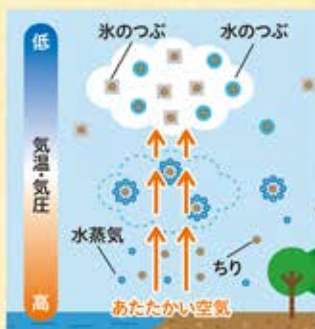
専門家から子育てに役立つ  
ポイントを教えてもらいます。

不思議にふれよう

①

## 「なぜ?」に触れて豊かな心を育む

子どもの「なぜ?」「どうして?」に答えることも、情操教育の一つです。今回は、家庭でもできる雲の作り方を紹介します。



が「雲」なんです。

秋 になり、空に浮かぶ雲もすっかり夏の雲から様変わりしていますよね。ところでみなさん、「雲って、どうしてできるの?」とお子さんから聞かれて困ったことはありませんか? そこで、まずは雲がどのようにしてできるのかを説明します。

海や地面の水が太陽の熱で温められると、水蒸気になります。その水蒸気と空気中の小さなちりが、温かい空気に乗って上空へと運ばれます。そして、上空で冷やされた水蒸気がちりとくっつき、水や氷の粒を作ります。この粒がたくさん集まってできたものが「雲」なんです。

Let's チャレンジ! 雲をつくってみよう!

### ●準備するもの●

- ・水の入った霧吹き
- ・炭酸飲料のペットボトル
- ・線香



ペットボトルをベコベコとへこませることで、中の空気が温まったり冷えたりを繰り返し、中の煙に水分がくっついて、雲と同じものができるといわけです。簡単なので、ぜひ、お子さんと一緒にチャレンジしてみてください!



## チャレンジ!スタート!



1 ペットボトルの中に1秒ほど線香の煙を入れる(大気のちりの役割) \*使用後は線香の火を必ず消してください



2 霧吹きで1回押す程度の水を入れる(水蒸気の役割)



4 ペットボトルの中が白く濁る! この白い物体が「雲」



3 ペットボトルのふたを閉めて、押したり緩めたりを繰り返す

バック  
ナンバーは  
こちら▶



子育ての情報が盛りだくさんの「CHEER! days」はこちら▶





かとうたけし  
加藤毅

エフコープスタッフ(現在、インク・アンド・ペーパー出向)。  
気象予報士と防災士の資格を持つ。好きな空は「心が晴れ渡るような真っ青な秋の空」。



豆知識たくさん!

# 子育て ぽけっと

専門家から子育てに役立つ  
ポイントを教えてもらいます。

不思議にふれよう

②

## 親子で学ぼう! 落雷の豆知識

**子** どものころ、雷が鳴ると親から「雷さまにおへそを取られるよ」と言われたことはありませんか? 実はこれ、あながち迷信だと言いきれないんですよ。注意された子どもがおへそを隠そうとお腹に手を当てたり、シャツをズボンやスカートの中に入れたりすることで、雷雨によって気温が下がったときに、お腹が冷えないようにするためのだったと言われています。

そもそも、雷はどうして発生するのでしょうか。雲の中には大小さまざまな氷のかけらがあり、そのかけら同士が激しくぶつかり合うと、静電気が発生します。この静電気がどんだん雲の中に溜まっていき、抱えきれなくなると、地面に向かって電気が一気に流れてしまいます。これが、雷が起こる仕組みです。

下記に、雷から身を守る行動について紹介しています。中には間違っていて伝わっているものもありますので、お子さんと一緒にチェックしてみてください。



pocket 1

屋外にいるときに雷が鳴ったら  
金属物を外す



雷が鳴ったら身に付けている金属物を外すように言われますが、実は、それほど影響はありません。雷は高いところに落ちるので、傘など、頭より高く掲げる物を持つことの方が危険です。



ゴルフクラブ、釣り竿、  
野球のバットなども要注意!

pocket 2

車の中は安全



近くに建物がない場所では車の中が安全です。車は金属で覆われているので、雷が落ちてても、表面を通して地面に流れます。ただし、くれぐれも金属部分には触れないように注意しましょう。



pocket 3

屋内なら大丈夫



屋内も、絶対に安全とは言えません。通信線やテレビのアンテナなどを通して電流が屋内に侵入してくることもあるので、雷が鳴っているときは、家電機器や壁、天井などから1m以上離れましょう。



バック  
ナンバーは  
こちら▶



子育ての情報が  
盛りだくさんの  
「CHEER! days」はこちら▶





かとうたけし  
加藤毅

エフコープスタッフ(現在、インク・アンド・ペーパー出向)。  
気象予報士と防災士の資格を持つ。好きな空は「心が晴れ渡るような真っ青な秋の空」。



豆知識たくさん!

# 子育て ぽけっと

専門家から子育てに役立つ  
ポイントを教えてもらいます。

不思議にふれよう

③

## 雪の結晶はなぜ六角形?

**み** なさん、雪の結晶を見たことはありませんか? 一見、白く見える雪ですが、よく見ると、一つひとつが、透明できれいな形をしていますよ。

さまざまな形に見える雪の結晶ですが、基本的には、すべて六角形をしています。なぜでしょう。それは、水の分子が凍るときに、六角形にくっつくからです。上空で冷やされた水蒸気が凍って六角形のつぶになり、とけずに地上まで落ちてくる間に空気中のチリなどとくっつきながら成長。そうしてさまざまな形となったものが、雪の結晶です。

結晶の形は上空の温度や湿度、水蒸気の量などによって変わるので、結晶の形から上空の様子がわかるのだとか。「雪は天から送られてきた手紙である」と言われていますが、形はおよそ35種類あるのだそうです。

下記に雪の結晶の観察方法を紹介しますので、この冬はお子さんと一緒に観察してみませんか?

pocket

### Let's チャレンジ! 雪の結晶を観察しよう

雪が降れば、雪の結晶の観察は簡単。  
ぜひ、親子でトライしてみてください!



準備  
+3もの  
1/

よく冷えた黒い布と板  
(布は深い青色でもOK。  
板は、まな板や厚紙など)



準備  
+3もの  
2/

マスク  
(雪に息がかかるのを  
防ぐため)



準備  
+3もの  
3/

ルーペ  
(100円ショップなどで販売されているものでOK。なければ、  
スマートフォンの接写機能を活用)

気象庁の長期予報によると、この冬の平均気温は平年並みか低い見込みとのこと。雪が降る日も例年より多そうですので、雪の結晶を観察できるチャンスも多いと思いますよ!



### ❄️ 観察方法 ❄️

1. 黒い布を張った板で雪を受けます。  
※雪がまとまっているときは、楊枝などでほぐします。積もっている雪は結晶が崩れているため、観察には適していません。
2. ルーペやスマートフォンの接写機能を使って、雪の結晶の形を観察!



雪が降らない日でも、凍った車のフロントガラスをよ〜く見ると、氷の結晶が見えることも。

1月号予告:「子どもとスマートフォンの付き合い方」をシリーズでお伝えします。

バック  
ナンバーは  
こちら▶



子育ての情報が盛りだくさんの「CHEER! days」はこちら▶

